

<金標準、春節入りで資金流入が途絶え軟調な値動き・・・>



(出所：オアシス)

金価格の急落で 3 日の中国の主要な金連動型 ETF4 本の一日当たりの純流出額が 68 億元（1530 億円）に達するなど、過去最大の資金流出に見舞われている。また金 ETF で最大の SPDR ゴールド・シュアの残高も 12 日に 1076.18 トンとなり 1 月 15 日以来の低水準になっている。しかし中国国家金融監督管理総局が米国債の保有を抑制するよう国内金融機関に勧告した事が報じられると、ドル安を背景に NY 金の上昇を見せたが、投機の過熱感が非常に高かった中国市場は 16 日～23 日まで春節に入り、中国市場は休場となる事から新たな資金流入も期待できない週である事など、一時的に戻りが抑えられた値動きが続く可能性は秘めていると思える。

また国内の金標準先物でも 1 枚の証拠金が 2719000 円と非常に高い水準を保っており、取組枚数も 6.6 万枚から 5 万枚へ減少するなど、今すぐの出直り相場には疑問が残る。そのため中国の春節が明ける 24 日までは下値模索の値動きに注意が必要に思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が下げながら、シグナルも下げている。RCI は短期が下げだし、長期は切り下げている。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジの下限に近付き、25000 円を割り込む可能性が高まっていると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引3,114,000円(2026年2月16日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復118,800円(2026年2月16日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-5540-8423(受付時間:平日8:30~17:30)証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター <https://www.nisshokyo.or.jp>